福岡市立生の松原特別支援学校
学校便り

～明日を拓く～

第11号　　令和６年３月１日号

文責　学校長 吉竹　雅人

【３月のことば】

私からの３月の言葉は、右の通りです。

２０１１年３月に発生した東日本大震災の被災地を、支援するために行われたプロジェクトで使われた、松任谷由美さんの曲のタイトルです。今年元旦に発生した、能登半島地震のニュースを聞いて思い出しました。

「春」には、様々なイメージがあります。季節としての「春」はもちろんです。卒業生が希望する進路先に進む幸せを、「春が来た」と表現することもあります。

また、この冬は、コロナよりもインフルエンザが猛威を振るいました。私は、感染症対策を気にすることがない完全なる日常についても、みなさんが待つ「春」ととらえることができると考えています。

この３月、みんなに春が来ることを願っています。

３月のことば

（みんなの）

春よ、来い

【豆まき（節分）】

成敗されて涙を流す鬼

ＰＴＡ運営委員会だよりでもお知らせしましたが、２月に入ると、校内の色々な場所に、鬼が出没していました。２月３日が節分だったからです。

現れた鬼に対して、本校の児童生徒たちは、元気よく「鬼は外」と、豆を想定した新聞紙を丸めたものを投げつけていました。

節分は、立春の前日に設定されます。これから、どんどん昼間が長くなっていくはずです。そうです。春よ来い。

【RefRise公演】

左が竜馬さん、右が玲央さん

２月９日（金）に、RefRiseによる公演が行われました。RefRiseは、結成８年目。作詞作曲を手掛ける玲央さんと竜馬さんからなるツインボーカルユニットです。本校では、中学部と高等部の生徒を対象として公演を実施しました。

RefRiseは、３月１０日（日）に福岡市民会館にて、無料招待の公演を控えています。その公演に向けて、市内の特別支援学校のほとんどを訪問してくださっています。

本当に痺れる歌声で、聴いていた者全員が、何か応援してもらえたと感じる時間でした。